



自衛隊栃木地方協力本部

LRT開業1周年記念イベントで広報展

交通フェスタ「乗ろう！フェア2024～乗って、知って、その先に～」



宇都宮募集案内所は、「今後も、各自自治体と連携しながら地域に密着したイベントに参加し、国民の自衛隊への理解と関心を高めてもらえるよう、所員一丸となって募集広報活動に邁進していく」としている。

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 古川3陸佐）は、8月25日（日）、ライトキューブ宇都宮で開催された、宇都宮市総合政策部交通政策課が主催する交通フェスタ「乗ろう！フェア2024」に乗って、知って、その先に～」において広報展を実施した。

本イベントでは、令和5年8月に開業した宇都宮駅東口から芳賀・高根沢工業団地を結ぶ、次世代型路面電車（LRT）の開業1周年を記念した「ライトライン・パースティ・パーティー」が併せて開催され、約3万人が来場した。自衛隊は働く車ブースに出展し、東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受け1/2トトラック、人命救助システムの展示を実施したほか、南極の氷、戦闘糧食の展示、わなげ及び缶バッジ作成を行い、大勢の来場者で賑わった。親子連れが楽しそうに1/2トトラックの前でポーズをとり写真撮影をしたり、南極の氷に触れていた学生からは「何万年前の氷なんだろう？」「ロマンを感じる！」といった声が聞かれるなど好評を得た。また、「災害派遣での活躍にはとても感謝しています！」「これからも頑張ってください！」といった励ましの言葉をいただいた。

SH-60K館山航空基地体験搭乗！

～海上自衛隊の魅力を満喫～



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤浩1陸佐）は8月31日（土）、海上自衛隊館山航空基地で募集対象者等8名に対しSH-60K体験搭乗を行った。

当日は台風10号の影響で天候が心配されたが、雨の合間を縫って体験搭乗を実施することが出来た。

館山航空基地へ到着すると、海上自衛隊についての概要説明や資料館見学ののち、格納庫へ移動しSH-60Kの任務についてのブリーフィングや搭乗前の説明が行われた。体験搭乗は、1フライト3名で行われ、館山上空から東京湾をまわり、約30分のフライトを楽しんだ。

その後、地上救難班の救難消防車及び管制塔見学を行い、管制塔見学では東京湾を一望できる絶景に一同歓声が上がリ、勤務員に質問するなど参加者達は楽しんでいる様子であった。参加した学生から「ヘリコプターに乗ったのは初めてです。とてもドキドキしました。勤務員の自衛官がテキパキしていてもかっこよかったです。良い体験になりました。とても楽しかったです」と笑顔で話してくれるなど、海上自衛隊の魅力を満喫した一日となった。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に積極的に働きかけ、自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していく」としている。